

## 令和4年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	8	学校名	静岡県立韮山高等学校	校長名	小川 圭一
------	---	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）※1生徒、※2保護者、※3教職員アンケート結果

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自ら学ぶ力の育成 （大学入試改革への対応・読解力の養成）	系統的な初期指導  平均家庭学習時間／2時間半以上 自主的な学習への取組／80%以上※1※3 部活動後の速やかな下校／100%※1	平均家庭学習時間／ 1年生 122.3分（1月） 2年生 182.9分（6月） 自主的な学習への取組／78.9% 部活動後の速やかな下校／90.1%	B	個々の生徒は文武両道を念頭に努力していることが伺える。
		大学等での授業・研究体験  実施後の満足度／95%※1	東大訪問実施（1R、1・2年希望者） 実施後の満足度／98.8%	A	3年ぶりに現地訪問が実現し、農学部・工学部に分かれて約80名が参加し、模擬授業を体験した。大学進学に対する意識が高まった。／94.1%
		短期・長期の計画的継続的講習  実施後の満足度／80%※1 積極的な学習姿勢／1・2年生講習参加率80%、3年生90%以上※1 難関大学40人、国公立大学160人以上の合格※1	講習参加率（1年：87.2%、2年：31.6%、3年：92.2%） 1・3年生は目標を達成している。2年生が低いが、冬期進学セミナー（満足度95.9%）には100人以上参加。	B	土曜講習だけでなく、夏期講習、放課後講習、冬期進学セミナー等への参加も前向きであった。2年生の講習参加率を上げたい。大学合格者の結果は、まだ出ていないが、目標達成を目指している。
		共通テスト対策とカリキュラムマネジメントに関連する研究／職員研修と授業公開  授業理解度（よくわかる）／90%以上※1 授業改善へ積極的に取り組む姿勢／90%※3／教育評価の研究95%以上※3	授業理解度（よくわかる）90.5% 授業改善へ積極的に取り組む姿勢／97.4% 教育評価の研究94.7%	A	新学習指導要領が開始され、観点別評価を本格的に導入した。その結果、教職員の意欲的な授業改善への姿勢が数字に表れた。
		課題研究（探究）の深化  実施後の満足度／80%※1 外部機関との連携／50%以上※1※3	国立遺伝学研究所、美しい伊豆創造センター等の外部機関と連携した。	A	文系探究コース国語1班がキャリア甲子園準決勝大会に出場した。理数科生物班が富士箱根伊豆国際学会で優秀賞を受賞した。
		「高校生のための学びの基礎診断」等の活用  生徒の実態を踏まえた授	生徒の実態を踏まえた授業／100% 学力向上に適した教育内容／94.9%※2	A	一部の生徒であるが学習と部活動の両立に悩む生徒も見られる。課題の与え方等

		業/100% <sup>※3</sup> 学力向上に適した教育内容/90% <sup>※2</sup>			今後の検証も必要である。
イ	自己実現・自己肯定感の涵養	自尊心・モチベーションを高める個別支援  自律心の育成/90% <sup>※1</sup> 学校生活満足度/90% <sup>※1</sup> 学校への満足度/90% <sup>※2</sup>	自律心の育成/88.0% 学校生活満足度/88.4% 学校への満足度/95.4%	B	昨年度とほぼ同様の数値で、個々の生徒が高い目標を持ち、充実した生活を送っている。 保護者の満足度も同様である。
		きめ細かな健康管理と新型コロナウイルス対応 各種講座満足度/95% <sup>※1</sup> 欠席・遅刻の削減 新体力テスト/最優秀校 新型コロナウイルス集団感染0件	各種講座満足度/89.6% 新体力テスト男女とも最優秀校 集団感染0件	A	新型コロナ陽性者や濃厚接触者はほぼ家庭内感染であり、校内のクラスター感染を発生させなかった。
		いじめや体罰の撲滅  仲間や周囲への思いやり度/95% <sup>※1</sup> 相談できる教職員の存在/90% <sup>※1, 2</sup> いじめ・体罰への速やかな対応	仲間や周囲への思いやり/98.2% 相談できる教職員の存在/生徒86.0%、保護者71.1% いじめ・体罰アンケート実施	B	仲間や周囲へ思いやりをもって接することができる。教職員へ相談できる体制を構築することが必要である。 いじめ・体罰アンケートへの気になる書き込みに適切に対応した。
		交通事故・事犯の撲滅  自転車事故/前年比50%削減 交通安全意識の高揚/100% <sup>※1</sup>	昨年の11件から5件へ減少。 交通安全を意識して登下校している98.2%	A	交通安全委員の啓蒙活動しっかりできた。
		進路意識や国際感覚を高める学校行事の充実(大学見学、語学研修等)キャリア教育の推進  実施後の満足度/95% <sup>※1</sup> 大学訪問・オープンキャンパス参加/全員が3年間で1回以上参加 将来の進路の明確化/75% <sup>※1</sup>	国公立大学ガイダンス、私立大学ガイダンス実施(満足度98%) インターンシップ実施(1年希望者) 大学レクチャー実施(2年生、興味深かった80%) エンパワーメントプログラム実施	A	国公立大学ZOOMガイダンスは大盛況で、6つの大学に延べ600人以上の参加があり、1・2年生の反響も大きかった。 インターンシップは医療系限定で3年ぶりに実施した。 大学レクチャーは大半の講座を対面で実施できた。
		目的の明確な課外活動  行事实施後の満足度/90% <sup>※1</sup> 諸行事への自主的参画/90% <sup>※1</sup> 県・東海・全国大会出場者の増加	諸行事への自主的参画/89.0%	A	全国東海については昨年度とほぼ同数であったが、運動、文化部合わせ多くの部が県大会への出場を果たした。

ウ	帰属意識の涵養とリーダー養成	<b>主体的な生活管理</b> 規範意識のある生活／98% <sup>※1</sup> 自律心の育成／90% <sup>※1</sup> 挨拶の励行／90% <sup>※1※2</sup>	規範意識のある生活／98.2% <sup>※1</sup> 自律心の育成／88.0% <sup>※1</sup> 挨拶の励行／90.1% <sup>※1</sup>	B	上2つはほぼ達成できた。ただ挨拶については明らかにコロナの影響もあり以前よりできていない。
		生徒会活動への積極的参加 実施後の満足度／90% <sup>※1</sup>	諸行事への自主的参加／89.0% <sup>※1</sup> 竹灯籠祭りや生徒150周年委員会による校外展示など積極的に参加した。	A	生徒会が多くの生徒を巻き込んで主体的かつ積極的に活動した。令和5年度は創立150周年にさらに積極的にかかわらせたい。
		行事（高原教室／修学旅行／龍城祭）の一体化 行事等実施後の満足度／90% <sup>※1</sup> 本校行事・活動の一体感／90% <sup>※1</sup> 仲間や周囲への思いやり度／95% <sup>※1</sup>	諸行事への自主的参加／89.0% <sup>※1</sup> 本校行事・活動の一体感／89.6% <sup>※1</sup> 仲間や周囲への思いやり度／98.2% <sup>※1</sup>	A	多くが積極的に参加。さらに終了後の満足度も高かった。
		志龍塾（定期講演会）の充実 実施後の満足度／95% <sup>※1</sup>	実施後の満足度／95%	A	3回の実施で、それぞれ異なる分野の講演を開催でき、生徒の感想も高評価であった。
		卒業生との交流機会の確保 職業レクチャー満足度／95% <sup>※1</sup> 先輩と語る会の開催	職業レクチャー満足度（98.4%） 先輩と語る会は、2年生に加え、1年生でも実施予定	A	職業レクチャーはPTAの大きな協力の元で、有効に行われ、満足度も高かった。冬期進学セミナーで卒業生との交流を実施できた。
エ	学校・家庭・地域の連携	<b>キャリア教育の推進・連携</b> 将来の進路の明確化／75% <sup>※1</sup>	進路講演会、保護者向け進路説明会を実施 将来の進路の明確化／71.9% <sup>※1</sup>	B	生徒に対する講演会に加え、2・3年生それぞれの保護者に向けた進路説明会を実施できた。
		地域の行事や奉仕的活動への参加と行政等の連携強化 参加後の満足度／80% <sup>※1</sup> 参加する生徒の増加／50%以上 <sup>※3</sup> 地域貢献に取り組む部活動の増加	地域活動に参加している生徒の割合は29.4% 美術部が蕪山時代劇場花壇のデザインを行ったり、写真報道探究部がジオトレインで地域の魅力発信などを行ったり、地域連携を行った。	C	新型コロナの影響が続いており、昨年よりも4.9ポイント低下した。地域と連携する活動は、昨年並みに行われている。新型コロナの状況が好転することが望まれる。
		全校清掃／クリーンアップ作戦 ゴミ分別の徹底	伊豆の国市の分別方法を徹底	A	これまで同様に徹底していく。クリーンアップで出たゴミをたい肥化によりリサイクルできた。

様式第3号

		<p>HP / Facebook ページ</p> <p>HP の月間更新回数 / 平均3回</p> <p>Facebook の月間更新回数 / 15回以上</p>	<p>HP の月間更新回数 / 平均3回</p> <p>Facebook の月間更新回数 / 15回以上</p>	A	<p>HP、Facebook、Instagram の更新を、管理職、研修課、広報委員会が協力して行った。</p>
		<p>学校新聞の発行と地域情報の収集・共有</p> <p>新聞3回以上、龍城学報50回以上 / 年間</p> <p>学校新聞等の閲覧 / 80%<sup>*1</sup></p> <p>学校発信情報の満足度 / 80%<sup>*2</sup></p> <p>家での学校についての会話 / 85%<sup>*1</sup></p>	<p>新聞3回以上、龍城学報50回以上 / 年間</p> <p>学校新聞等の閲覧 / 81.6%</p> <p>学校発信情報の満足度 / 97.4%</p> <p>家での学校についての会話 / 87.5%</p>	A	<p>葦高新聞では地元を特集するなど、地域の情報を発信する役割も担った。</p>
		<p>一日体験入学 / オープンスクール等活動公開</p> <p>参加者（来校者）の満足度 / 90%</p> <p>学校発信情報の満足度 / 80%<sup>*2</sup></p>	<p>参加者（来校者）の満足度 / 81.7%</p> <p>学校発信情報の満足度 / 98%</p>	B	<p>中学生一日体験入学は、コース数を増やすことで、普通科と理数科を体験できるコースも設けた。</p> <p>オープンスクールは中学生とその保護者のみに限定し公開実施できた。</p>
		<p>業務改善（情報共有の場の積極活用）（外郭団体との連絡調整等）</p> <p>各課・分掌会議、担任会の定期的実施</p> <p>分掌業務・組織の見直しと適切化<sup>*3</sup></p> <p>教育環境の改善度 / 95%<sup>*2</sup></p>	<p>本年度も通常の時程に会議を組み込む事ができた。</p>	A	<p>時程に組み込むことで、放課後の部活動指導等への影響を減らせるよう配慮した。</p>
オ	魅力あふれる教育環境の整備	<p><b>教育課程及び学校行事の精選と評価向上</b></p> <p>学校生活満足度 / 90%<sup>*1</sup></p> <p>教育環境の改善度 / 95%<sup>*2</sup></p>	<p>学校生活満足度 / 88.4%<sup>*1</sup></p> <p>教室棟4階のエアコンの故障で使用教室を変更した。</p> <p>トイレにサニタイザーを設置した。</p>	B	<p>完全ではないが、各学年の学校行事が徐々にコロナ対応以前の実施状態に戻りつつある。</p> <p>生徒用トイレに対する要望は改善されたが、職員用トイレは十分ではない。</p>
		<p>ICT環境拡充</p> <p>スクラップ&amp;ビルドの具体化（業務改善）</p> <p>ICT機器の利活用 / 85%<sup>*3</sup></p> <p>教育環境の改善度 / 95%<sup>*2</sup></p>	<p>Cラーニングを導入した。欠席連絡や健康観察に大変効果があった。</p> <p>ICT機器の利活用 / 86.8%</p>	A	<p>ICT研修も実施し、使用方法の理解も深まってきた。</p> <p>Classiを廃止し、Cラーニングに一本化し、来年度はCラーニングの活用を拡大する。</p>

		<p>蔵書の充実と新書の提示</p> <p>年間一人あたりの貸し出し／3冊以上</p> <p>図書館利用生徒の増加 実施後の満足度／100%※<sup>1</sup></p>	<p>本年度もブックフェアを開催しリクエスト本を購入。「龍城図書館」を継続設置。</p> <p>図書貸出数 2.5 冊(2月 1 週時。前年比 -0.4)</p> <p>図書委員主導のビブリアハトル開催 7 年目。チャンプ本コーナー設置。</p>	<p>B</p>	<p>本年はビブリアハトルを全学年で実施でき、よかった 100%(図書委員回答)。コロナ禍で行事等制限される中、工夫して実施できた。図書委員会主体の行事を継続して実施したい。</p> <p>貸出数は若干低下したが自習室としての利用は定着してきた。</p>
		<p>適切な会計管理と予算執行</p> <p>適切な会計処理の励行と不祥事 0 件</p> <p>学校経営予算 1 月末予算執行率／70%以上</p>	<p>学校経営予算については教育目標が達成できるように光熱水費の高騰により予算的に厳しい中、計画的に執行した。</p> <p>不祥事 0 件</p> <p>1 月末執行率 72%</p>	<p>A</p>	<p>光熱水費の高騰により学校経営予算が圧迫されている。また、物品の値上げ等が更に追い打ちをかけており、予算の執行は困難を極めている。教育目標達成のための予算を確保するよう一層の効率化や節約が必要である。</p>
		<p>コンプライアンスに関する研修会</p> <p>不祥事 0 件</p> <p>積極的に研修を実施／100%※<sup>3</sup></p> <p>教員公務員としての自覚／100%※<sup>3</sup></p>	<p>不祥事は 0 件</p> <p>職員の交通事故 1 件</p> <p>職員会議や朝の打合せを利用し、コンプライアンスに関する研修や連絡を実施</p> <p>教育公務員としての意識を持って生活している 100%</p>	<p>A</p>	<p>教職員は意識を高く持って勤務している。</p>
		<p>危機管理に関する訓練</p> <p>緊急時対応の理解度／100%※<sup>1</sup></p> <p>生徒の地域防災訓練への積極的な参加</p>	<p>緊急時に適切な対応ができる 84.2%</p> <p>地域活動等に参加している 29.4%</p>	<p>B</p>	<p>緊急時の適切な対応は、昨年より 13.7 ポイント上昇しているが、地域活動への参加は 4.9 ポイント減少した。コロナ禍のなか、地域の防災訓練等が中止になっているため。地域連携として、中止になっていた伊豆の国市危機管理課との会議を持つことができた。</p>
		<p>定期的な健康診断とストレスチェック</p> <p>計画的な休暇取得の促進</p> <p>健診受診率／100%※<sup>3</sup></p> <p>健康管理意識の向上※<sup>3</sup></p> <p>夏季休暇の完全取得者／100%※<sup>3</sup></p> <p>職員の超過勤務時間の縮減</p>	<p>健診受診率／100%</p> <p>夏季休暇完全取得者は 83.3%</p> <p>職員の時間外勤務時間は 1 月末までの月平均が 50.3 時間</p>	<p>C</p>	<p>全教職員が健診を受診した。</p> <p>休暇の取得をさらに促進する必要がある。</p> <p>職員の時間外勤務時間は 1 月末までの月平均が昨年同時期より 10.3 時間増加した。業務の整理や削減が求められる。</p>